



Contents

- 1 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会大学連携協定」を締結
- 2 不動産学シンポジウム
- 3 14年度歯学部海外研修
- 4 震災被災地復興支援ボランティア
- 5 オープンキャンパス開催!
- 6 JEF・MEIKAIチャリティーサッカークリニック開講
- 7 明海スポーツ
- 8 サマーキャンプ

2020年東京五輪 大学連携協定を締結

オリンピック教育の推進や PRで組織委員会と連携

2014年6月23日、早稲田大学大隈記念講堂において、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会大学連携協定締結式」が開催され、森喜朗組織委員会会長をはじめとする一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の関係者と全国の大学・短大関係者が一堂に会し、来賓としてAISTS（国際オリンピック委員会、ジュネーブ大学等が中心となってスイスに設立したスポーツマネジメント大学院）のジャン・アンダー・マンソン会長が招かれた。本学からは佐々木康史副学長と中川仁体育会会長が出席した。

五輪成功に向けて連携

これは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と全国の大学が連携し、それぞれの資源を活用してオリンピック教育の推進や大会機運の醸成などの取り組みを進めることを目的としたもので、本学を含む全国の大学・短大552校が連携協定を締結。

締結式では、元内閣総理大臣の森組織委員会会長が「550校を超える大学の協力を得て、産官学のオールジャパン体制で取り組むことができる。素晴らしい大会にするために、大学の知恵と力をお借りしたい」と挨拶した。

本学では連携活動の一環として、9月17日に浦安キャンパスにおいて、

不動産学部主催（共催：一般財団法人日本不動産研究所）「オリンピックは東京の不動産市場をどのように変えるのか？」と題したシンポジウムを開催し、オリンピックや不動産に興味を持った受講者が会場に詰めかけ多くの関心と呼んだ。

大学の立地を活かす

2020年東京オリンピック・パラリンピックのコンセプトとして「成熟した都市での開催」「コンパクトな会場配置」が掲げられている。具体的には、台場地区や有明地区といった東京都の臨海エリアが競技会場として多く使用され、晴海地区が選手村となる予定。そのため、臨海エリアにア



佐々木副学長（右）と中川体育会会長
アクセスが良く、整備されたグラウンド・施設を持つ本学は、練習施設の貸し出し、体育会所属の在学生らによるサポートスタッフの手配など万全の環境を提供することが可能。2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて、本学だからこそ実現可能な支援・協力を行っていく。

不動産学シンポジウム 「オリンピックは東京の不動産市場をどのように変えるのか？」開催

本学不動産学部主催の公開シンポジウム「オリンピックは東京の不動産市場をどのように変えるのか？木密地域の不燃化促進事業を踏まえた2020年不動産市場の未来」が9月17日、浦安キャンパスで開催され、浦安市民や関係者など約150人が参加した。

オリンピックの影響を多方面から分析

はじめに安井利一が「日本のこれからを考えると、不動産は大きな意味を持つ。日本の不動産学を担う大学として、価値のある情報を発信していきたい」と挨拶。

続いて前東京都技監の藤井寛行氏、UR都市機構東日本都市再生本部密集市街地整備部長の本間伸彦氏による基調講演が行われ、オリンピック開催に向けて、東京が都市として求められていることや、東京都における密集市街地整備の取り組みについて話された。

その後、本学関係者を含むパネリスト4人による研究報告が行われ、小松広明不動産学部准教授が「不動産投資市場における投資家の意識とその変化—今後10年間に於ける不動産投資のタイミングに関する一考察—」と題し、住宅や事務所などの売り時や買い時のタイミングについての報告を、前川俊一不動産学部教授が「東京オリンピックの経済効果と日本再生」と題し、過去のオリンピックを事例とした経済効果の予測についての報告を行った。

引き続き行われたパネルディスカッションでは、研究



パネルディスカッションの様子

報告に関する参加者からの質問に答えながら活発な意見交換が行われた。

本学の不動産学を世界に発信

中城康彦不動産学部長は今後の展開について「これからの都市の活性化には不動産の知識が必要となる。不動産学の元祖と言われるロンドンで開催されたオリンピックでは、それまで開発から取り残されて

いたエリアを重点的に再開発してメイン会場にするなど、成功の背景には不動産学が大きく関わっていた。2020年の東京も、オリンピックを機に都市活性化を加速させたい。また、日本で唯一、『不動産学』が学べる明海大学不動産学部を世界にアピールしていきたい」と話した。

オリンピックを起点とした国内での不動産学の需要の高まりに期待したい。

明海大学公開講座 食の安全と未来

2014年10月25日(土) 13:00~15:30 (受付12:00~) / 明海大学浦安キャンパス 2206講義室

【講演】

我が家の食卓を守る正しい知識

食品表示アドバイザー、消費者問題研究所 代表 垣田 達哉氏

世界農業と日本農業の未来予想図

明治学院大学経済学部 教授 神門 善久氏

【対談】

食の安全と未来はだれがつくるのか？

食品表示アドバイザー、消費者問題研究所 代表 垣田 達哉氏

明治学院大学経済学部 教授 神門 善久氏

明海大学経済学部 准教授 中澤 栄一

明海大学経済学部 准教授 宮崎 礼二(モデレーター)

申込方法

申込書を明海大学公式HP (<http://www.meikai.ac.jp>) からダウンロードし、FAXまたはE-mailで送信してください。(お電話でも申込みできます)

問合せ先

明海大学浦安キャンパス庶務課
TEL: 047-350-4990
FAX: 047-355-5420
E-mail: mu-info@meikai.ac.jp

14年度歯学部
海外研修

世界各国の7大学で研修

相互交流で国際性を養う

歯学部では国際未来社会で活躍し得る歯科医師を育成するため、海外協定校との相互交流に力を入れている。なかでも、交換研修プログラムは本学歯学部の大きな特色のひとつ。本学の学生を海外の大学に派遣し、さまざまな研修プログラムを通じて諸外国の歯科医療の現場に触れることができる海外研修制度を設け、また、研修に参加した学生が海外から研修生を迎え入れ、継続的かつ相互的な交流の実現を図るなど、全国の歯学部でも本学のみの特長ある制度となっている。ここでは、8月に海外協定校で行われた奨学海外研修の様子を紹介する。

海外の最新歯科医学を体験

奨学海外研修は、成績優秀な学生を費用全額大学負担で海外研修に派遣する制度で、今年度は32人の学生が参加した。アメリカ（カリフォル



アラバマ大学バーミングハム校（アメリカ）の研修に参加した学生ら

ニア大学ロサンゼルス校、アラバマ大学バーミングハム校、テキサス大学サンアントニオ校）、フィンランド（トゥルク大学）、中国（北京大学口腔医学院、第四軍医大学口腔医学院）、メキシコ（メキシコ州立自治大学）など各国を代表する大学で

の約10日間の研修により、最新の歯科医師養成のシステムや歯科事情など、日進月歩の歯科医学の現状を学んだ。研修プログラムは病院内での診療見学やホスト学生の診療介補、学内見学、レクリエーションなど多岐にわたり、また、学生間の交流も積極的に行われるなど、充実した内容となった。

内容となった。

研修に参加した学生からは、「入学前から目標にしていた海外研修に参加し、海外の歯科事情を学ぶことができ、貴重な経験となった」「ホスト学生の患者とのコミュニケーションの取り方や診療に関する説明の仕方など、勉強となる点が多くあった」「帰国後もホスト学生と連絡を取り合うなど、同じ志の友人ができたことは大きな収穫となった」といった感想が聞かれ、実り多い研修となった。

明海大学歯学部公開講座

2014年10月11日 土
14:00~16:00 (13:00から受付開始)

食事をず〜っと「おいしく」食べるには？

受講無料
申込不要



「五感を使っておいしく食べよう！」

明海大学歯学部形態機能成育学講座生理学分野教授

村本 和世 氏

「安心して食べるには？」

明海大学歯学部形態機能成育学講座生理学分野助教

溝口 尚子 氏



明海大学

外務学部(日本語、英米語、中国語学科)/経済学部/不動産学部
ホスピタリティ・ツーリズム学部/歯学部/大学院/別科

会 場 明海大学坂戸キャンパス
東武越生線「川角駅」から徒歩約10分
受 付 当日、先着順にて受付いたします。
お問い合せ TEL: 049-279-2707
明海大学 歯学部 庶務課

詳しくは
こちらから ⇒ 明海大学

震災被災地復興 支援ボランティア

被災地支援活動To+Uプロジェクト

学生主催の支援活動で 復興を支援

8月7日から10日にかけて、明海大学学友会中央委員会主催『被災地支援活動To+U プロジェクト』が行われ、学生有志15人がボランティア活動に参加した。

To+Uプロジェクトとは、2011年3月11日に東日本大震災で被災した東北（Tohoku）地方と、明海大学が所在する浦安（Urayasu）を繋げよう（+）という意味が込められている。

本学では2011年8月から継続的な被災地復興支援活動を推進しており、岩手県釜石市での活動は今回で5回目の実施となる。

初日は、被災地の視察及び鶴住居地区にある宝来館で女将の震災体験談を聞いた。

2日目以降は、地元のお祭りである「第26回釜石よいさ」にボランティアスタッフとして参加し、テン

トの設置などの事前準備、イベント当日の運営サポートや片付けなどを行った。

継続的なボランティア活動

参加した学生は「昨年もこのボランティアに参加したが、あまり復興が進んでいないと感じました。しかし、現地の方々はとても前向き

に生活していて、そのエネルギーの強さに圧倒されました。これからもボランティア活動を継続していきたいと思います」と語った。

被災地の復興に向けて少しでも協力したいという在学生も多く、そういった思いをボランティア活動として形にできるよう、今後も支援活動を継続していく。



ボランティア活動中の様子

ホスピタリティ・ツーリズム学部 社長講座

ホテルオークラ東京代表取締役会長らが講演

ホテルや旅行、エアライン業界などに高い就職率を誇るホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部で



講義するホテルオークラ東京の清原氏

は、企業が求める人材を育成することを目的に、実践教育に力を入れている。

HT学部の授業科目「特別講義I（通称：社長講座）」では、日本のHT業界を代表する企業の経営トップを招き、オムニバス形式で業界の動向や仕事に対する心構えを学ぶ。7月3日に(株)ホテルオークラ東京代表取締役会長の清原當博氏、10日に(株)アゴラ・ホスピタリティ・グループ代表取締役CEOの浅生亜也氏、17日にANA成田エアポートサービス(株)代表取締役会長の小林克巳氏を招き、講義が行われた。

ホテルオークラ東京の清原氏は、ホテル業界の発展の推移や自身のホテルマンとしての経験について話した上で、ホテル業界の現状について「近年の訪日外国人観光客は、日本のおもてなしはパーフェクトだと思ってやってくる。しかし、その期待に添えない部分も少なからず存在する。今後は、従来の発想にとどまらないサービスでお客さまに感動を与える『心のビジネス』で最高のサービスを提供したい」と語った。日本のホテル業界を代表する企業の経営トップの話に、学生は真剣な表情で聞き入っていた。

オープンキャンパス開催!

大きな盛り上がりを見せる

浦安キャンパス（外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部）と坂戸キャンパス（歯学部）では、8月から9月にオープンキャンパスを開催。全国各地から多くの高校生・保護者が来場し、大盛況となった。

浦安キャンパス 大学周辺バスツアーが大好評

浦安キャンパスでは、8月2日・23日、9月28日の計3回開催。各回でさまざまな特別プログラムが行われる中、8月には「大学周辺バスツア

ー」が行われた。これは在学生在がガイドを務め、大学周辺の環境や浦安市の歴史、一人暮らしの生活情報などを紹介するもので、毎年人気を博している。在学生在



大学周辺バスツアー

は、授業やゼミで学んだ知識やスキルを活かして、原稿作成や表現方法の研究を重ね本番に挑み、参加者からは「ガイドの学生の話が上手で楽しかった」「大学周辺のおすすめスポットをたくさん知ることができた」といった感想が聞かれるなど、大変好評だった。

この他にも、各回で行われた「AO入試対策講座」では、代々木ゼミナールの人気講師による面接・小論文対策や、HT学部志望者向けの「英語運用能力確認テスト対策」が行われ、本学への受験を考えている多くの高校生らが参加した。

坂戸キャンパス 歯科医療を体験

坂戸キャンパスでは、8月24日に開催。全体ガイダンスの会場となった大



体験学習

講義室が満席となるなど、多くの高校生・保護者が来場した。特別プログラムの「AO入試対策講座」や「模擬授業」では、熱心に耳を傾けながらメモを取る高校生の姿が見られた。その後、体験学習やシミュレーション演習、キャンパスツアーなど、さまざまなプログラムが行われ、歯科医療の現場に触れた参加者からは、「歯科医師になる夢を叶えるための環境が整っていると感じた」「AO入試対策講座で丁寧に解説してくれて参考になった」といった声が聞かれた。

One Day セミナー

参加型プログラムで学部の魅力を体験!

7月27日にホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部、8月2日に不動産学部のOne Dayセミナーが浦安キャンパスにおいて開催された。

このセミナーは、学部の特色を活かしたさまざまな体験・参加型プログラムを通じて学部の魅力や学びの楽しさを知り、興味を深めてもらうことを目的に行っている。

オープンキャンパスとは異なり少人数定員制のため、在学生在や教員としっかりコミュニケーションがとれ

ることも魅力のひとつ。HT学部ではTOEIC®講座、不動産学部では保護者対象に進学セミナーを行った。

HT学部のセミナーに参加した高校生からは、「TOEIC®の勉強方法がよく分かり、参考になった」「明海大学に入学したいという思いが強くなりました。合格できるように勉強を頑張ります!」といった声が聞

かれた。また、不動産学部のセミナーに参加した保護者からは「カリキュラムや留学制度について詳しく聞くことができ、参考になった」などの感想があり、大変好評だった。



ホスピタリティ・ツーリズム学部One Dayセミナーの様子

JEF UNITED・MEIKAI-UNIV.

チャリティーサッカークリニック開講

9月1日から「JEF UNITED・MEIKAI-UNIV.チャリティーサッカークリニック（秋季コース）」が開講し、100人を超える浦安市在住の小学生が参加した。

これは、2014年7月3日に本学とジェフユナイテッド株式会社の間で締結された「包括的連携協力に関する協定」の一環で、サッカーを通じて浦安市に在住する子供たちの健全な成長とサッカーレベルの向上を図ると同時に地域コミュニティーの活性化に寄与することを目的としている。

また、本事業収益の一部は地域貢献費として浦安市及び浦安市サッカー協会に寄付される。

クリニックでは、ジェフユナイテッド株式会社が企画・運営を務め、本学はメイングラウンドを会場として提供するほか、体育会サッカー部に所属する選手らもアシスタントして協力する。運営を統括するスクールマスターには、ジェフユナイテッド市原・千葉の元キャプテンとして活躍し、現在は同クラブ育成組織のコーチを務める坂本将貴氏を起用。ほかにも、経験豊富なコーチ陣が指導にあたる。

参加した小学生は、プロサッカークラブのコーチ陣による指導を熱心

に聞きながら、笑顔でサッカーを楽しんでいた。また、初対面であってもスポーツを通じて接することで、休憩時間にはすっかり打ち解けた様子が見受けられた。

今回スタートした秋季コースはすでに募集を締め切っており、12月まで開講される。

冬季コースは1月から開講、募集開始は12月上旬を予定している。



コーチの指導に聞き入る子供たち

めいかい日本語教室開講

日本語学科の在学生が企画・運営した「めいかい日本語教室」が8月6日



授業の様子

から9日にかけて浦安キャンパスにおいて開催され、浦安市在住・在勤の外国人を対象に日常生活に役立つ日本語の授業を実施した。

初日には、参加者の日本語のレベル別にクラス分けを行い、「依頼のほんご」というテーマで、電話をかける、レストランで注文する、といった日常会話を紹介。翌日以降も日本文化や日常生活など多様なテーマで授業が行われた。講師を務めた学生は、日ごろ使用している日本語を言語として教えることに緊張した様子も見受けられたが、参加者と談笑を交えながら日本語の魅力・奥深さを伝えた。

学園祭開催のお知らせ

●坂戸キャンパス「第44回 けやき祭」

日程：10月11日(土)・12日(日)

テーマ：「けやき祭、魅せるぞ皆で、地域の輪」

内容：模擬店、軽音ライブ、お笑いライブ、ピノゴ大会など

●浦安キャンパス「第27回 明海祭」

日程：11月1日(土)～3日(月)

テーマ：「繋～ツナグ～」

～明海祭が人と人とのつながりを深め、広げる場となるような時間を提供したい!～

内容：模擬店、ライブ、トークショー、フリーマーケットなど

詳細は で検索

体育会サッカー部

千葉県大学サッカーリーグ1部 春季を1位で折り返し

4月から7月にかけて行われた千葉県大学サッカーリーグ1部春季リーグを6勝1敗の首位で折り返し、9月から行われる秋季リーグ

に向けて弾みをつけた。

八津川義廣監督は「今年のテーマはリベンジ。昨年の昇格決定戦の悔しさを晴らすため、秋季の7試合を

全勝し、千葉県代表として関東大会に進出する。そして、今年こそは創部以来の悲願である関東リーグ2部に必ず昇格する」と意気込みを見せた。なお、試合結果・試合日程については左記の通り。

【秋季リーグ】

第1節	8/31(日) VS 千葉商科大学	5-0
第2節	9/7(日) VS 東京理科大学	2-0
第3節	9/14(日) VS 千葉大学	7-0
第4節	9/21(日) VS 江戸川大学	4-0
第5節	9/28(日) VS 国際武道大学	2-1
第6節	10/5(日) VS 城西国際大学	13:50 明海大G
第7節	10/12(日) VS 中央学院大学	13:50 明海大G



体育会サッカー部

体育会ヨット部

国際470級ジュニア世界選手権

2014年国際470級ジュニア世界選手権大会が6月26日から7月3日までイタリアで開催され、本学体育会ヨット部から林優季（経済学科2年）・木村沙耶佳（経済学科2年）ペアと、太田貴弘選手（経済学科2年）が出場した。

結果は林・木村ペアは23チーム中18位、太田選手は早稲田大学のクルーとして出場し、46チーム中15位と健闘した。

この結果について國府田由隆監督は「初参加にしてはよく健闘したと思う。これからは楽しみだ」と語った。

なお、この結果により林・木村ペアは千葉県2020年オリンピック特別強化選手に、又村あすか選手（英米語学科4年）と又村彩選手（英米語学科4年）が強化選手に指定された。



林優季・木村沙耶佳ペア

9月13日、14日に江の島ヨットハーバーで開催された平成26年度関東学生女子ヨット秋季選手権大会において、470級では林・木村ペアが見事1位に輝き、又村あすか・又村彩ペアが2位、又村優（日本語学科1年）・澤田しおり（英米語学科3年）ペアが5位と大健闘し、また、スナイプ級でも橋本杏奈（経済学科1年）・千葉真由子（経済学科3年）ペアが5位に入賞し、総合順位で2位という快挙を成し遂げた。

また、第23回全日本学生女子ヨット選手権大会が同月21日から23日まで葉山港で開催され、又村優・澤田ペアが470級4位に入賞し、スナイプ級8位とあわせて総合5位であった。

秋の全日本選手権に向けてさらなる活躍を期待したい。

**サマナー
キャン**

学生・教職員200人が参加 立場を超えた交流

9月2日と3日の2日間、千葉県鴨川市で浦安キャンパス学友会サマナーキャンプが実施された。

これは日本人学生、外国人留学生、教職員らが意見交換を通じて交流を深めるとともに、明海大学をよりよい大学に発展させることを目的に毎年行われているもので、今年は学生・教職員ら約200人が参加。

1日目は、『明海大学の未来について考える～10年後の明海大学～』をメインテーマに4つの分科会テーマを設定して、なるべく参加者全員が意見を言えるようにとの配慮からさらに少人数グループに分かれて意見交換が行われた。

分科会テーマは「授業・大学設備・学生と教職員の関わり方について」「明海大の魅力、他大学との違いについて」「ボランティア活動について」「日本人学生と留学生の交流に

ついて」の4つで、今後のグローバル化を見据え、学内で日本人学生と外国人留学生が交流する機会を増やしてほしいといった意見が出るなど国籍、学年、さらには学生と教職員の垣根を超えて活発な質疑応答が行われた。

その後、希望者別に造幣局、日本

科学未来館、三井アウトレットパーク木更津を見て回り、充実した時間を過ごした。

参加した学生からは「留学生や教職員など普段話す機会が少ない人とも意見交換をすることができ、充実した2日間でした」という声が聞かれた。



班ごとに分かれてディスカッション

OPEN CAMPUS 2014

各日程の特別プログラム等は本学公式HPをご覧ください。

<http://www.meikai.ac.jp>

浦安キャンパス 10:30～15:00

外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部

10月26日(日)

【入試相談会】11月16日(日) ※要予約

お問い合わせ／企画広報課

TEL **047-355-1101**

坂戸キャンパス 10:30～16:00

歯学部

10月11日(土)、10月12日(日) けやき祭同時開催

【一般入試対策講座】11月15日(土) ※要予約

お問い合わせ／歯学部入試事務室

TEL **049-279-2852**

2015年度入試日程

浦安キャンパス 外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部

入試種別	出願期間	試験日
AO入試	(10月期)	9/29(月)～10/10(金) 10/18(土)
	(11月期)	11/4(火)～11/14(金) 11/22(土)
	(12月期)	11/25(火)～12/5(金) 12/13(土)
スポーツ文化活動特別入試(B日程)	11/4(火)～11/14(金)	11/23(日祝)
外国人留学生特別入試(B方式)	11/10(月)～11/21(金)	12/6(土)

■お問い合わせ **浦安キャンパス入試事務室**
TEL **047-355-5116**

坂戸キャンパス 歯学部

入試種別	出願期間	試験日
AO入試(12月期)	11/25(火)～12/3(水)	12/6(土)

■お問い合わせ **歯学部入試事務室**
TEL **049-279-2852**

※この他にもさまざまな入試方法がございます。
詳細は必ず入学試験要項をご確認ください。資料請求は公式HPから。

<http://www.meikai.ac.jp>